

28年度年間計画の「散策」最終回、3月7日（火）鎌倉小町から大町まで、見返り坂を越えて歩きました。当日は穏やかな天候に恵まれ、講師・大貫昭彦先生のご案内で20名、先生の講話と散策を楽しみました。



《若宮大路幕府旧跡》

黒塗りの大和塀を巡らせた、作家「大仏次郎旧邸」の脇にある、「若宮大路幕府旧跡の碑」を見ながら、大貫先生の解説を聞く。写真の建物は「大仏次郎旧邸」。この辺りにも将軍の住まいがあったらしい。



《宝戒寺門前の北條執権邸旧跡の碑》

小町大路の通りに面した、「萩の花」で有名な「宝戒寺」。天台宗のこの寺は、北條本家（得宗家）の屋敷跡に、一族の怨霊をなぐさめるべく開かれ、鎮魂のための装置は何重にも施されたという。



《見返り坂から望める鶴岡八幡宮》

「葛西ヶ谷」の南に入る見返り坂は、現在は宝戒寺の墓地と民家が占めていますが、墓地に向かって上り坂になり、トンネルを抜けて大町に通じています。坂の途中で振り返ると、遠く、鶴岡八幡宮や頼朝の墓辺りが望めます。

幕府滅亡の日、落ちていく武士たちが、「今日が見納め」と振り仰いだ景色です。



《大宝寺》

日蓮宗寺院。源義光の子孫、佐竹義盛の屋敷跡に開かれた寺といわれます。本堂には義光の像が祀られ、境内には、義光の墓と、義盛が建立した多福稲荷社があります。



《安国論寺境内で、大貫先生と参加者の皆さん》

安国論寺の開山は日蓮上人。境内には、日蓮上人が、立正安国論を執筆するために籠ったといわれる岩屋があります。



《安国論寺の本堂での大貫先生の講話》

この日の最後の見学・訪問先安国論寺の本堂をお借りして、講師・大貫先生の、源氏から北條に至る鎌倉幕府の栄枯盛衰について、興味深いお話を伺い、この日の散策は大変充実した一日でした。

◎ 生涯学習「西柴」では、原則毎月第1火曜日に「散策」を行なっています。

来る、平成29年の新年度は、4月から、来年の3月まで、年間計画によって実施いたします。行ってみようかという方、是非ご参加ください。

内容・参加の詳細については、自治会の「ホームページ」、「回覧」等でもお知らせします。

次回は、6月6日（火）、「戸塚宿の史跡」を訪ねます。

（ お わ り ）